1. 大嶋さんが送ってくれたURL（<https://github.com/KazukiOshima/cansat2020>）からcansat2020に入る
2. 右上のForkボタンを押す。すると自分のレポジトリにcansat2020があるはず。

・名前は「自分の名前」/cansat2020とかになってる

・今後そこで開発を行うことになる

・そこにファイルあげてもみんなには共有できない

1. Cansat2020の真ん中右らへんにClone or Downloadってのがあるからそれ押してでてきたURLをコピー
2. コマンドプロンプトを開いて　cd　で自分の好きなフォルダへ
3. 自分のフォルダまでこれたら以下のように記述

・git clone [ここにさっきコピーしたURL貼る]

・例：C:\Users\hkrca\Documents\GitHub>git clone <https://github.com/Hi-kimu/cansat2020.git>

・そうするとDocuments内のGitHubフォルダ内にcansat2020フォルダができる

1. cd　でcansat2020内に入ってgit checkout -b [好きな名前]でbranch作成

・branchはなんか作業してる枝みたいな

・例えばbranch1でやった作業はbranch2には関係してない。パラレルワールド的なやつ

・git branchで好きなbranch作れて、git checkoutで好きなbranchに切り替えられる。 この二つを一気にやるのが上記のgit checkout -b

・ちなみにgit branchだけ書いて実行すると今作ってあるbranchの一覧が見える。おそらくmasterってのはもともとあって一番権力ある枝みたいな

1. 好きなファイルを編集してcansat2020内に保存
2. git add [ファイル名.拡張子]を実行

・ちなみにgit statusで変更状態（addされたか、消されたかとかの状況が見れる）

1. git commitって書いてコミットする。自分のローカルリポジトリに変更を保存してる
2. git remote add origin [大分最初にコピーしたURL]でリモートリポジトリの名前をoriginってする。デフォルトでoriginってつくらしいoriginじゃなくてもoriでもなんでも平気

・ただ、originを一回使ったらもうほかのURLは挙げれないからorigin一回削除するなり、ほかの変数作るなりする

・ちなみにgit remote -vでつくってURLもってるやつの一覧見れる

・削除はgit remote -d [origin]

1. git push origin [つくったbranch name]でプッシュします。プッシュはリモートリポジトリにそのbranchでやった変更をあげるみたいなやつらしい
2. upstream（Fork元リポジトリ）の設定する。git remote add upstream [大島さんのcansat2020のurl]を実行。今回はみんな<https://github.com/KazukiOshima/cansat2020.git>かと
3. branchをmasterに変更

・git checkout master

1. upstreamからpullして最新を取得。リモートリポジトリとかのデータをもらって、ローカルのbranchに統合するって意味らしい

・git pull upstream master

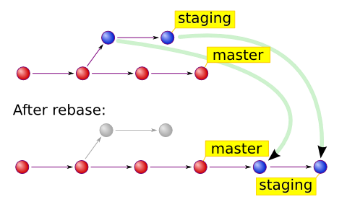
1. ローカルのmasterをoriginにpush（オプション）

・git push origin master

1. branchを作成したbranchに変更

・git checkout [つくった\_branch\_name]

1. branchをrebaseする。これは分岐してた枝の作業が終わったから、分岐元（master）のところに統合してあげようってことらしい。⇒の図がイメージ

・git rebase master

1. git push -f origin [your\_branch\_name]を実行
2. GithubでForkした自分のリポジトリに行く。そんでbranch

を自分のbranchに変えて大嶋さんにpull requestする